

藤江校区まちづくり計画書

《知っとこ藤江の魅力》

海に見えるまち、**田園風景**が広がるまち
歴史と遺跡のまち、そして**人情**溢れるまち



2019年藤江漁港から見た初日の出

■計画期間 5年(2019年4月～2024年3月)

2019年3月

藤江校区コミュニティ推進協議会



ふじえもん

1 はじめに



本会は平成28年9月、26人委員会に於いて平成31年度より藤江校区まちづくり協議会に移行する旨決議し、この2年6か月の期間を掛けて住民を対象にした意見交換会や計画書策定委員会を開催し、組織体制を検討の上、会則の制定、そして「まちづくり計画書」の作成等移行準備に取り組んでまいりました。

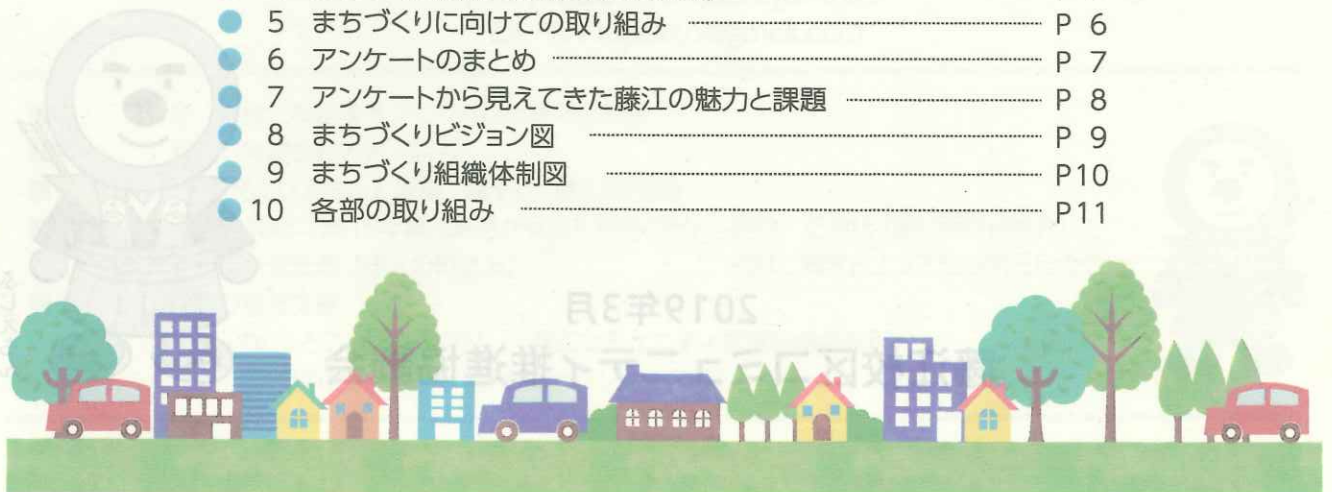
また「まちづくり計画書」を作成するにあたっては、住民のみなさんの実態と直面する課題や提言を反映するために住民アンケートを実施しましたが、70%を超える回収率となり住民各位の新しいまちづくりへの大きな期待が伝わって参りました。新しいまちづくり協議会は計画性と透明性を遵守し、民主的で開放的な組織を目指しています。住民主体の魅力ある藤江校区まちづくり協議会を皆さんと一緒に創っていきましょう。

平成31年3月

藤江校区コミュニティ推進協議会
会長 小林 寛滋

も く じ

● 1	はじめに	P 1
● 2	校区の概要	P 2
● 3	藤江の歴史と沿革	P 3
● 4	まちづくり協議会の成り立ち(経緯)	P 5
● 5	まちづくりに向けての取り組み	P 6
● 6	アンケートのまとめ	P 7
● 7	アンケートから見えてきた藤江の魅力と課題	P 8
● 8	まちづくりビジョン図	P 9
● 9	まちづくり組織体制図	P10
● 10	各部の取り組み	P11

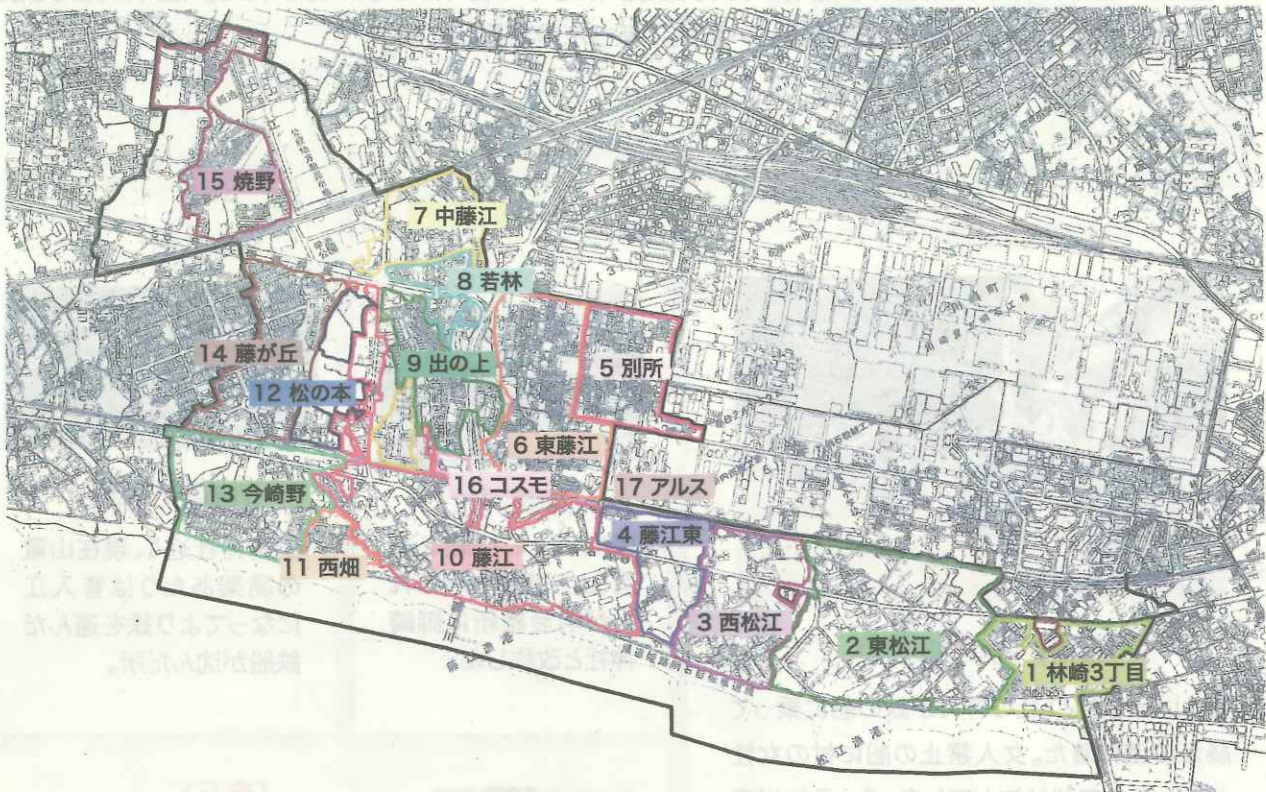


2 藤江校区の概要

藤江校区はJR西明石駅南に位置し、山陽電車が横断、東は林崎漁港より西は今崎野まで2.5kmの海岸に面し、国土交通省で整備された松江海岸があり、明石海峡より淡路島を望む風光明媚なところです。地区内は田園、畑、港、海岸、公園、公設市場、神社、お寺など豊富な自然の財産に囲まれたところで、概ね藤江小学校の通学エリアをコミュニティ校区として活動を推進して参りました。

藤江小学校の歴史は古く、その前身は1850年(嘉永3年)頃寺子屋として誕生したといわれています。戦後、昭和35年頃よりJR南の別所、東藤江等の開発が進み一挙に戸建てが立ち並び子どもの数も増加し、藤江小学校は増改築を繰り返し現在の校舎に至っています。

近年更に田園風景が住宅地に姿を変え、若い家族の転入により、年齢構成の地域差が顕著に表れてきました。地域によって抱える課題も様々で、それぞれの地域にあった課題解決の施策が求められています。



藤江校区の人口推移



藤江校区の世帯数と人口の推移(全体) 昭和48年 世帯数:4,688戸 人口:15,632人
 平成29年 世帯数:6,842戸 人口:14,777人

3 藤江の歴史と沿革

地名の由来

藤の木が多く花が咲く海岸からつけられたというのが一般的だが、大昔、この辺りに大地震があり土地が陥没して淵となったので淵江といい、後に藤江となったとの説もある。小規模だが藤江川沿いに海岸段丘があり、こんな話を残したのだろう。

藤江の浦

『あらたへの 藤江の浦に すずき釣る 海人とか見らむ 旅ゆく吾を』(人麻呂)
藤江の浦は、柿本人麻呂や山部赤人ら万葉歌人によって古くから歌に詠まれた。遠くに見える淡路島、断崖の連なる海岸は素晴らしい景観であったのだろう。



《的射神事の起こり》

昔、山王権現21社の神々が鉄の船に乗って藤江の浦に着た。女人禁止の船に村の女性が乗ったので船は沈んでしまった。それ以来山王21社の神をここに祀った。
又、神々が鉄の船に乗って藤江の浦に着いた時、船夫が誤って巨大なアカエイの鼻に錨を降ろした。怒ったアカエイは船を沈め船夫は船と共に沈んでしまいその霊が鬼神となって村人に害を加えた。見かねた山王権現が弓でこの鬼神を射殺したといい、的射の神事はここから起こったという。今も的射神事は毎年1月に執り行われている。



《御崎神社》

応安5年に社殿を造営、山王権現と呼ばれたが明治維新に御崎神社と改称した。



《鉄船の標柱》

御崎神社近く、現在山電の高架あたりは昔入江になってより鉄を運んだ鉄船が沈んだ所。



《赤石》

赤石川(東松江川)より20mばかり沖合に、横1.5mほどの巨石あり色赤し故に赤石という。明石は昔「赤石の国」と呼ばれていた。



《青龍神社》
鎌倉時代に建立



昭和14年藤江尋常高等小学校第1回運動会



《山電藤江駅と藤江競馬場》

藤江競馬場の臨時駅として戦前に開設、競馬場は現在の藤が丘。旧駅舎は馬券売り場などに使用。
昭和11年、競馬場は川崎航空機の明石進出により幕を閉じ、跡地に川崎航空機の従業員社宅が建った。



藤江公設卸売市場
(昭和52年開設)



《松江防災公園》

平成22年、平時は住民の憩いの場として、災害発生時は一時避難地として整備



昭和34年頃の藤江の浜



現在の藤江漁港



現在の浜の散歩道

4 まちづくり協議会の成り立ち(経緯)

昭和14年	5月18日	林崎第二尋常高等小学校より分離 明石郡林崎村立藤江尋常高等小学校と呼称(創立記念日)
昭和52年	2月	藤江校区各種団体協議会を設立
昭和55年	4月	藤江校区連合自治会を設立
平成3年	4月	藤江校区各種団体協議会を藤江校区コミュニティ推進協議会に改名
平成28年	5月 9月10日	今年度よりコミュニティ推進協議会会長を立候補制により選出 26人委員会で「協働のまちづくり協議会」への移行を承認決議
平成29年	2月25日 3月 5月21日 6月15日 9月2日 12月2日	「藤江のまちだより」創刊号を発刊(全戸配布) 藤江校区連合自治会を解散 26人定期総会で計画書策定委員会及びプロジェクトチーム設置を承認決議 第1回 計画書策定委員会を開催 26人委員会でまちづくり協議会への移行計画(案)及び住民アンケート実施について承認決議 26人委員会でアンケート趣意書及び設問内容等の承認決議
平成30年	1月10日 2月1日～15日 3月17日 9月1日 12月1日	17自治会(町内会)及び未加入自治会とPTAに住民アンケートを配布(戸配) 集計作業(延べ150名) 26人委員会でまちづくり協議会設立に向け今後の日程を承認決議 26人委員会で全体のビジョンと事業部設置について承認決議 26人委員会で組織図及び会則案について承認決議
平成31年	1月8日 3月23日 3月 5月19日 6月23日 6月23日	地域事務局採用(2名) 26人委員会で藤江校区まちづくり協議会計画書について承認決議 明石市へ「藤江校区まちづくり協議会計画書」の認可申請をおこなう まちづくり協議会初代会長選挙 藤江校区コミュニティ推進協議会解散総会 藤江校区まちづくり協議会設立総会

藤江校区に居住する者はだれでも会長に立候補が出来ます。

5 まちづくりに向けての取り組み

まちづくりは既に始まっています。住民主体のまちづくりを基本理念に、これまでもそして、これからも様々な機会を利用して住民のみなさんの声に耳を傾け、まちづくりに反映していきます。

1 住民アンケートの実施と集計

- 住民の実態と直面する課題を明らかにする。
- 藤江の魅力を再発見する。
- 提言をまちづくりに反映する。

《アンケート用紙配布 4,892 件》

平成30年1月10日～平成30年1月28日

《アンケートの集計 回収 3,483 件》

平成30年2月1日～15日(延べ150名動員)



封入作業と集計作業



2 ワークショップで意見交換

- 全体会で意見交換 (10回 延べ380名)
- アンケート報告会で意見交換 (1回 40名)
- 出前ワークショップ意見交換 (2回 105名)
- 防犯講演会や防災研修会で意見交換 (2回 88名)

3 計画書策定委員会で検討

- 一般住民の方からも募集し、プロジェクトチームを結成。
- 役員を含む策定委員会で住民の意見や提言を反映した計画書の作成に取り組んだ。
- 策定委員の中から募り、会則検討委員会を開催。
- プロジェクトチーム会議 (3回延べ15名)
- 計画書策定委員会 (21回延べ357名)
- 会則検討委員会 (4回延べ28名)



4 広報紙『藤江のまちだより』を発行

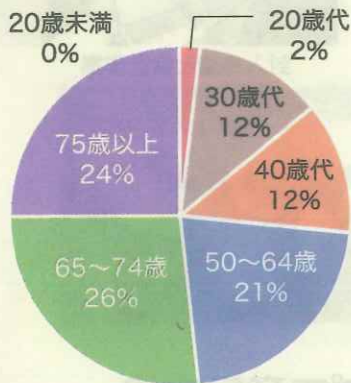
広報紙を創刊、校区活動の報告や地域のイベント紹介等
又、まちづくり協議会に向けた取り組みを報告。(年間2回)

6 住民アンケートのまとめ

●アンケートの回収状況

配布件数: 4,892件	(自治会・町内会加入世帯/4,114)
回収件数: 3,438件	回収率: 70.3%(3,438/4,892)

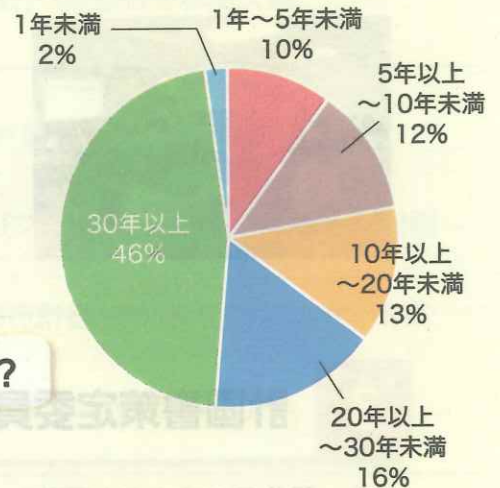
問 あなたの年齢は?



問 あなたの世帯構成は?

- ① ひとり世帯 636人
- ② 夫婦世帯 1,099人
- ③ 親・子世帯(2世代) 1,405人
- ④ 親・子・孫世帯(3世代) 138人
- ⑤ その他 97人

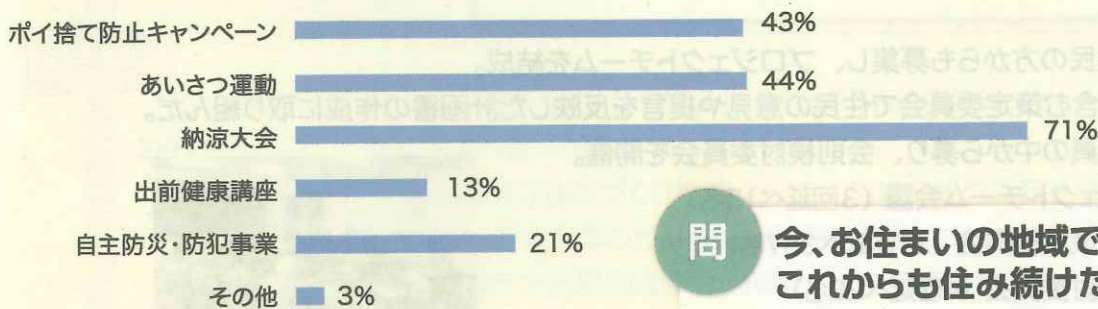
問 藤江小学校区に住まれて何年ですか?



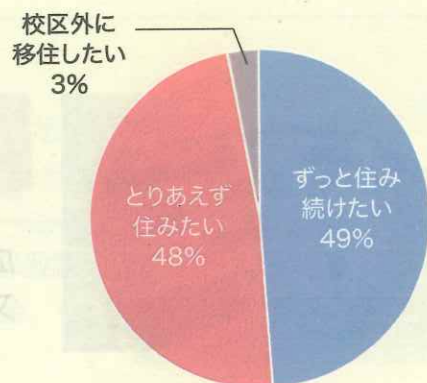
問 あなたは自治会に加入されていますか?

- ① 加入している 91%
- ② 加入していない 9%

問 藤江小学校区内での事業・活動をご存知ですか?



問 今、お住まいの地域でこれからも住み続けたいですか?

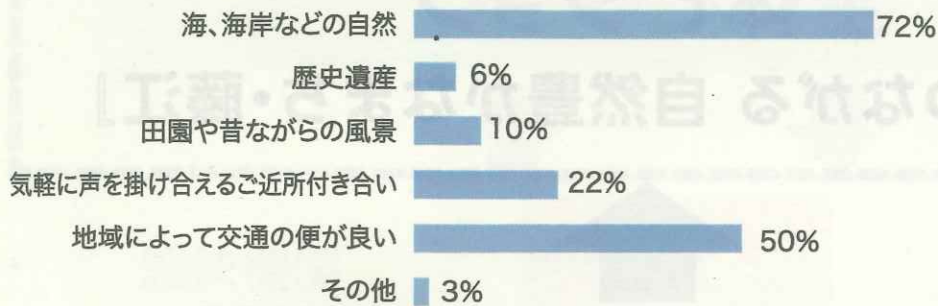


問 まちづくりへの参加について

- ① ぜひ参加したい 1%
- ② 機会があれば参加したい 24%
- ③ 可能な範囲で参加したい 57%
- ④ 参加したくない 18%

7 アンケートから見てきた藤江の魅力と課題

▶ 藤江の誇れるもの・魅力

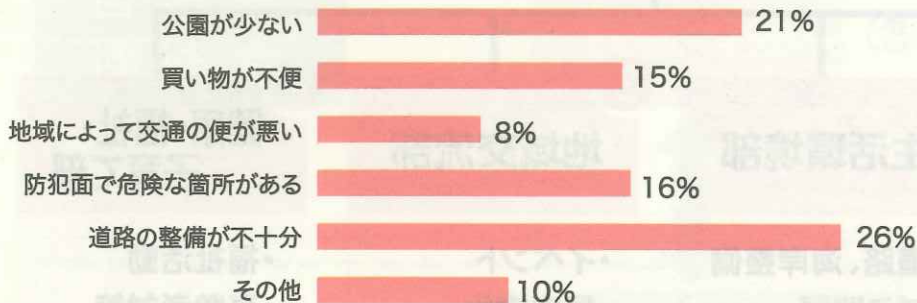


浜の散歩道



龍泉寺

▶ 藤江の課題・問題点



青龍神社秋祭り

◎目指す藤江の姿

- ① 安全で安心して住み続けたい藤江
- ② 歴史遺産と自然環境が自慢の藤江
- ③ 笑顔が溢れ、心が通い合う藤江
- ④ 高齢者がいきいきと活動する藤江
- ⑤ 健康で心豊かな子どもを育む藤江



《ふじえもん》 誕生秘話

住民アンケートの回答用紙に掲載された《ふじえもん》の作者を探し四苦八苦しましたが、やっと探し当て、栗脇恵子さん（藤江町内会）の作品であることが判明しました。歴史のある藤江に相応しい《ふじえもん》のイラストをこれから始まる藤江校区まちづくり協議会のマスコットキャラクターとして採用させていただくことになりました。栗脇さんからは「ふじえもんは「藤江の的射」の的をモチーフにうまれました。可愛らしさの中にも凛とした強さを持った10歳の男の子です。」とメッセージをいただきました。



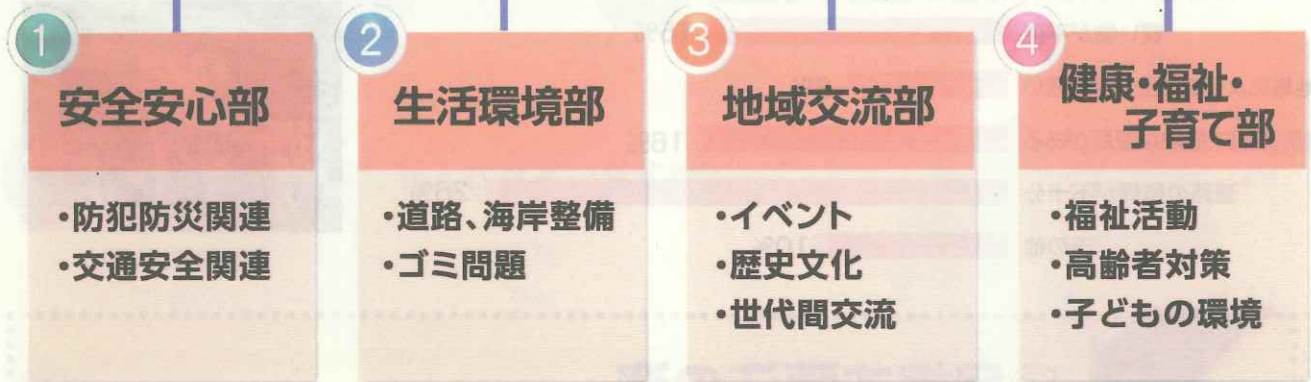
ふじえもん



全体ビジョン

『心がつながる 自然豊かなまち・藤江』

設置事業部



まちづくりで『出会い』『感動』『活力』を!!

《目指す藤江の姿》に向かって事業を推進していきます。主役は住民の皆さんです。関心のある事業部に登録し部員となって事業計画から参画出来ます。又、サポーターとして空いている時間に好きな部活の仲間入りも…。興味のある部会の仲間入りも…。まちづくりが新たな仲間との出会いや感動・達成感など、また、住民の皆さんの生き甲斐づくり、活力の源泉になればと願っています。



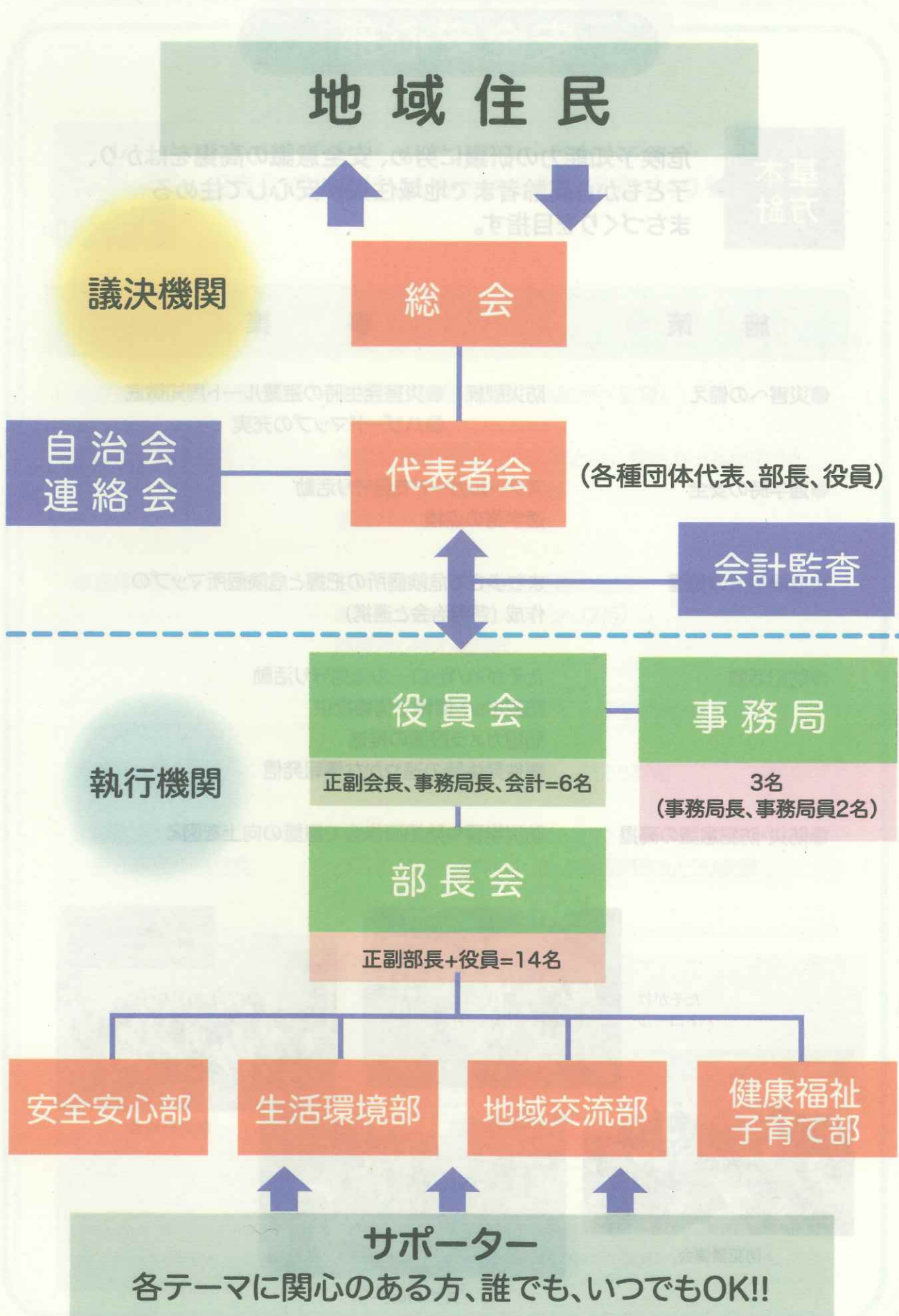
C21で子ども達も活動



皆さんの参加を待っています!!



9 まちづくり組織体制図



安全安心部

基本方針

危険予知能力の研鑽に努め、安全意識の高揚をはかり、子どもから高齢者まで地域住民が安心して住めるまちづくりを目指す。

施策	事業
●災害への備え	防災訓練 ●災害発生時の避難ルート周知徹底 ●ハザードマップの充実
●通学時の安全	スクールガードで見守り活動 通学路の点検
●危険個所の把握	まち歩きで危険個所の把握と危険個所マップの作成 (各自治会と連携)
●防犯活動	たそがれパトロールで見守り活動 防犯ネット情報で情報提供 防犯カメラ設置の推進 事件発生時の速やかな情報発信
●防災・防犯意識の高揚	防災学習や防犯研修会で意識の向上を図る

たそがれ
パトロール



防犯講演会



スクールガード



防災研修会



生活環境部

基本方針

日常生活に根付いた住みよい生活環境づくりを目指す。

施策	事業
● 県道718号線の整備	車道及び歩道の整備（兵庫県へ要望）
● 道路不備の改善	各自治会の問題点を取りまとめ、校区で一本化のうえ明石市に要望（優先順位） 道路パトロール隊
● 海岸・地域の美化活動	日常的なポイ捨て防止活動の推進 ポイ捨て防止キャンペーン（7月） 精霊流し供え物回収 自然保護活動 （藤江小学校児童と「ハマビシ保全運動」を推進する）
● ゴミ減量とマナー	リサイクルの推進 廃品回収の奨励
● 藤江海岸のPRと藤江駅前の活性化	SNS、広報誌で藤江海岸を紹介 藤江駅前に店舗誘致、藤江駅南側改札口の設置 藤江バス停ロータリーの改善



ポイ捨て防止キャンペーンと藤江海岸

現在の藤江駅前風景



藤江の砂浜に生息する
絶滅危惧植物のハマビシ



地域交流部

基本方針

住民の交流を通して地域を明るく元気にし、かつ多くの住民が参加しやすい環境づくりを目指す。

施策	事業
●歴史文化事業	校区の遺跡めぐり
●世代間交流事業	夏祭り納涼大会 囲碁・将棋サークル
●あいさつ運動	家庭や地域からあいさつ運動を奨励 まちかどあいさつ運動 (藤江駅前等のティッシュ配りで挨拶運動、 防犯、防災意識の啓蒙活動も・・・)
●海岸を活用した事業	海辺での楽しい行事など
●情報提供	「藤江のまちだより」発行 ホームページの編集 他部会と合同 //



夏祭り納涼大会



健康・福祉・子育て部

基本方針

健康で楽しく過ごせるまちづくりを目指す。

施策	事業
●高齢者の見守り	地域での見守り活動の推進 災害時に於ける避難要支援への見守り活動 ふれあいサロン
●健康増進対策	浜辺のラジオ体操 ウォーキングとゲームで楽しく 健康診断（出前）の促進
●子どもの居場所	昔あそびの体験教育 コミセン・公民館の開放（各自治会と連携）
●登校時あいさつ運動	2学期始業式の校門あいさつ運動
●子育て相談	若いお父さんやお母さんの子育て相談コーナー

■自治会や各種団体と協力して事業を推進する。



あいさつ運動（2学期始業式の校門）



出前健康診断



サロン（焼野地区）



公民館を活用して夏休みの作品づくり
（今崎野子ども会）



校区カラオケ交流会



藤江校区まちづくり協議会 構成団体

- | | | | |
|----|-----------|----|---------------|
| 1 | 林崎町3丁目自治会 | 14 | 藤が丘自治会 |
| 2 | 東松江町内会 | 15 | 焼野自治会 |
| 3 | 西松江町内会 | 16 | コスモ西明石自治会 |
| 4 | 藤江東地区自治会 | 17 | アルス西明石コースト自治会 |
| 5 | 別所自治会 | 18 | スポーツクラブ21藤江 |
| 6 | 東藤江自治会 | 19 | 藤江校区高年クラブ |
| 7 | 中藤江自治会 | 20 | 防犯協会藤江支部 |
| 8 | 若林自治会 | 21 | 藤江校区民生児童委員 |
| 9 | 出の上自治会 | 22 | 藤江校区ボランティア会 |
| 10 | 藤江町内会 | 23 | 藤江幼稚園PTA |
| 11 | 藤江西畑自治会 | 24 | 藤江小学校PTA |
| 12 | 藤江松の本自治会 | 25 | 望海中学校PTA |
| 13 | 藤江今崎野自治会 | 26 | 藤江校区子ども会育成会 |
| | | 27 | 藤江校区消防団 |



コスモ西明石屋上から撮影

藤江校区まちづくり協議会事務局 明石市藤江195-1 藤江小学校コミセン内 ☎078-939-4900
HP / <https://a-machi.jp/fujie/>
Eメール / fujiekk@gmail.com

- 制作 藤江校区まちづくり計画書策定委員会
- 印刷 有限会社アディスト
- イラスト提供 《ふじえもん》栗脇 恵子氏 (藤江町内会)
- 写真提供 表紙『2019年藤江漁港から見た初日の出』 西村 正治氏 (藤江西畑自治会)
裏表紙他『藤江の町並み』 田村 壽洋氏 (コスモ西明石自治会)
- その他の写真及び参考文献
「知っとこ藤江 今むかし」(藤江コミュニティ推進協議会発行)
「明石の史跡」(明石市芸術文化センター発行)

